



学校教育目標

豊かな心を持ち、自ら学ぶ、たくましい子どもの育成

藤崎小だより



令和3年9月24日
第6号

大きな集団でも自分らしさを発揮するために

9月7日の全校朝会で、1年半後に迫った学校統合について話をしました。子ども達に、しっかりと見通しを持ち、必要な準備をしてほしいと考えたからです。

講話では、はじめに、本校を含めた5つの小学校について、それぞれの児童数や特色を簡単に紹介しました。その上で、5つの小学校が一緒になると、酒田で一番大きな小学校とほぼ同規模の、全校児童約460名の学校になることを話しました。これまで子ども達は、漠然と大きな学校になることはわかっている、それがどのぐらいなのかということを知っている子は少なかったようです。各学年が2～3クラスになり、○年1組、2組、3組とクラスが分かれることに触れると、期待と不安が入り混じったようななどよめきが起きました。

次に、「大きな学校になることのよさ」について考えました。示したのは次の3点です。

①学びのフィールドが広がる ②応援してくれる人が増える ③友達が増える

③は、子ども達からも、いの一番に声があがったよさでした。期待も不安もあり、最も関心の高いところなのでしょう。前向きに考えられるように、次のことも付け加えて話しました。

→いろいろな考え方に出会える 自分の見方や考え方を広げるチャンス！

→よきライバルができる 自分をさらにのばすチャンス！

→たくさんのアイデアが生まれる 大勢だからできることに挑戦、実現させるチャンス！

最後に、統合や進学で大きな集団に入ろうとしているみんなが、自分らしさを発揮していくために大切なことは何かについて、1学期末に行った学校評価（児童アンケート）の結果と関連づけて話をしました。伝えたことは、次の2つです。

①自分の思いや考えをはっきりと表現する力をつけること

【1学期の学校評価アンケート】

授業中、自分の考えを、相手にわかるように話したり、書いたりすることができた。

→**Aは50%（半分の人）**

⇒ **表現することでこそ、
あなたのよさが伝わる！！**

「失敗は成功のもと」

「教室はまちがうところだ」

②だれに対しても、やわらかい心でかかわれる人になること

【1学期の学校評価アンケート】

自分や友達のよいところをたくさん見つけることができた。 →**Aは60%**

⇒ **自分とは性格がちがう人、自分とは考えがちがう人、自分とはすきなものがちがう人・・・ちがいのある人のよいところも見つけられる人に！！**

Aは「よくできた」と答えた子 「できた」は含まず

間もなく1年の折り返し地点になりますが、「意思をはっきりと言葉で伝える力」「他者理解や思いやりの心」が育つ教育活動の一層の充実を図り、まずは、1年のゴールに向けて子どもたちとともにがんばっていきたいと思います。

校長 富樫 由紀子

タブレットPCを活用して効果的な学習を！

GIGAスクール構想により、学校では1人1台のタブレットを持ち、学習に生かす時代になりました。藤崎小学校においても、今年度より1～6年生全員に1人1台のタブレットが整備され、授業などでの活用を徐々に進めています。また、活用にあたっては、遊佐町に配置されたICT支援員（阿部積先生）から効果的な方法をアドバイスしてもらいながら実践を重ねているところです。

今回は、そのいくつかの実践例を紹介します。



学習ソフト「ジャストスマイルドリル」を活用したスキル学習

このソフトは、自動採点や学習記録はもちろん、一人一人に適した問題を出しわけの機能もあり、子どもが自分のペースでドリル学習に取り組むことができます。また、クラス全体のつまずきを可視化し個別指導を必要としている子どもを把握することも可能です。

子どもたちの取り組みの様子を見ると、（ゲーム感覚で？）夢中になって学習しています。



カメラ機能を活用し、生き物観察

観察する生き物をタブレットで写真撮影後、各自フォルダに保存し、後日撮影したものと比較しながら成長の様子をとらえています。



◆◆◆◆◆藤崎っ子の活躍◆◆◆◆◆

＜第63回山形県子ども絵画展覧会＞ 山形新聞（8月30日）に掲載されました。

- 【奨励賞】4年 梶原 英知さん
 【入選】1年 青山 凱飛さん 石垣 凱愛さん
 6年 大場りおな さん



← 凱愛さん



→ 英知さん



→ 凱飛さん



→ りおなさん

＜バスケ＞

☆山形県ミニバスケットボール 夏季交歓大会 【第1位】YUZAgirls（女子）